

# 4 産業



「はつかいちらしさ」を活かし、  
地域経済の好循環により発展するまち

施策方針  
4-1

商工業の振興

施策方針  
4-2

観光の振興

施策方針  
4-3

農林水産業の振興

- 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
- 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和した、持続可能な観光地となっています。

基本事業(1) 市内事業者の経営基盤強化

基本事業(2) 新たな産業の創出

基本事業(3) 安心して働くことができる環境の整備

基本事業(1) 観光客の来訪・滞在と観光消費の拡大の促進

基本事業(2) 観光客の受入体制の整備

基本事業(3) 地域も満足できる観光の実現

基本事業(1) 農産物の販売促進と地産地消の推進

基本事業(2) 農業の生産性向上と担い手の確保

基本事業(3) 林業従事者の担い手確保と森林整備の促進

基本事業(4) 漁業の生産力向上



- 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
- 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和した、持続可能な観光地となっています。

2

新たなビジネスの創出に向けて、新規事業の進出支援や創業支援、事業者間の連携促進が必要です。

- ・市内産業経済団体や金融機関と連携し、創業塾の開催などを通じて創業者を支援します。また、市内事業者間の連携を促進し、市内経済の循環や新たな事業の構築を支援します。

### (3) 安心して働くことができる環境の整備

#### 主な課題

1

誰もが安心して、働き続けられる環境の整備が必要です。

#### 主な取組

- ・経営層に対し、若者、女性、子育て世帯、シニア、障がい者、外国人など、多様な人材を尊重する経営スタイルの浸透を図り、誰もが働きやすい環境を整備します。
- ・男性の育児休業取得率の向上等に取り組み、ジェンダーギャップの解消を進めることで、誰もが育児に関わりながら安心して働ける環境を整えます。

#### 施策の進捗状況を確認する指標

	指標名	現況値	目標値
		【2025(令和7)年度】	【2030(令和12)年度】
1	廿日市市景況調査における市内全産業合計の業況DI(四半期)が県内業況を上回っている割合	3期/4期 (R6年)	4期/4期
2	自分が希望する働き方を実現できている市民の割合	37.7%	50.0%

#### 主な関連計画

- 産業振興ビジョン

#### 施策主管課室

産業振興課

#### 主な関係課室

- 国際交流・多文化共生室
- 人権・市民生活課
- 観光課
- 農林水産課
- こども課
- 建設総務課
- 都市活力デザイン課



- 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
- 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和した、持続可能な観光地となっています。

5	<p>市内全域への周遊や宮島以外の観光スポットへの誘客を図るため、観光資源の磨き上げやプロモーションに加え、交通アクセスの充実・強化が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体や事業者等と連携し、地域の観光資源を活かしたコンテンツの造成・磨き上げ、市域を越えた広域エリアでの受け入れ、テーマやストーリー性のある周遊ルート・コンテンツ開発などの促進支援を行うほか、ターゲットに応じた戦略的なプロモーションを展開します。また、新機能都市開発事業における観光・交流施設用地に、観光客の市内周遊促進の拠点及び広域観光の交通結節点となる交通広場の整備を進めます。</li> </ul>
---	--	---

## (2) 観光客の受入体制の整備

	主な課題	主な取組
1	誰もが安心して、快適に観光を楽しめるよう、受入環境の整備やユニバーサルツーリズムの推進が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する宮島への観光客に対応するため、宮島栈橋及び旅客ターミナルや宮島口地区周辺の整備、ごみ箱・トイレなどおもてなし施設や観光案内の充実、無電柱化等に取り組めます。</li> <li>・観光施設等の適切な維持管理やバリアフリー化の推進に加え、多様な観光客のニーズに合った観光コンテンツや旅行プランの提供、また、季節・時間・場所を考慮した分散型観光を推進します。</li> <li>・パークアンドライドや駐車場の満空情報の発信等による国道2号の渋滞対策など、受入環境の整備を進めます。</li> <li>・地域住民や事業者等と協力・連携したおもてなし、ホスピタリティの向上を図ります。</li> </ul>
2	観光客の利便性や観光産業の生産性を向上させるため、デジタル技術の活用が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光データの収集・可視化、観光客の行動やニーズ分析、リアルタイムで効果的な観光情報の発信、また、業務の効率的な管理運営などに、生成AI等のデジタル技術を活用した取組を推進します。</li> </ul>
3	観光客の安全を確保するため、防災対策が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設や交通事業者、関係機関等と連携し、災害時の避難誘導や受入体制の整備・強化を進めます。</li> </ul>



- 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
- 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和した、持続可能な観光地となっています。

### 施策の進捗状況を確認する指標

	指標名	現況値 【2025(令和7)年度】	目標値 【2030(令和12)年度】
1	総観光客数	831万人 (R6年)	1,300万人
2	観光消費額	367億円 (R6年)	650億円
3	観光客満足度の平均値（10段階評価）	8.2ポイント	8.5ポイント
4	観光客の増加や観光に関する取組により、「地域経済が活性化し、にぎわいが生まれている」や「地域への愛着や誇りが高まっている」と感じている市民の割合	27.2%	36.2%

### 主な関連計画

- 観光振興基本計画
- 宮浜温泉街活性化基本構想
- 宮島包ヶ浦自然公園利活用方針
- 産業振興ビジョン
- 宮島まちづくり基本構想

### 施策主管課室

観光課

### 主な関係課室

- 宮島企画調整課
- 産業振興課
- 包ヶ浦自然公園利活用推進室
- 宮島水族館企画室
- 農林水産課
- 建設総務課
- 宮島口みなとまちづくり推進課



- 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
- 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和した、持続可能な観光地となっています。

③

農業生産の基盤を確保するため、農地や農業用施設の維持・保全が必要です。

- ・集落単位での荒廃農地の発生防止等に向けた取組や、有害鳥獣被害への効果的な支援、農業用施設の維持・改修を行います。


### (3) 林業従事者の担い手確保と森林整備の促進

	主な課題	主な取組
①	森林経営管理制度に基づく取組等の推進により、「伐って、使って、植える」という森林の循環利用を促進していくことが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営管理権集積計画の策定に取り組み、市有林だけでなく民間所有の山林も含めて、森林の多面的機能が持続されるよう、森林資源の循環利用（間伐、市産材活用、再造林等）や林道の整備・維持補修を通じて、適切な森林管理を図ります。</li> </ul>
②	林業の担い手が不足しているため、後継者の育成や新規就業への支援が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業の担い手確保に向け、研修制度の充実や資格取得に必要な支援等を行います。</li> </ul>
③	森林整備に要するコストが増加しているため、効率的な施業方法の導入や支援が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な森林整備に向けて、ICTの活用や林業機械の導入支援を行います。</li> </ul>

### (4) 漁業の生産力向上

	主な課題	主な取組
①	漁業経営を安定させるため、事故や災害、不漁に備えた支援が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船保険や漁業共済への加入を促進するとともに、水産物の消費拡大などに取り組みます。</li> </ul>
②	漁場環境の変化に対応するため、資源管理や環境改善の取組が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産資源の維持・増大を図るため、種苗放流や漁場整備、漁場環境改善に取り組みます。</li> </ul>
③	漁業の生産基盤を確保するため、漁港施設の計画的な整備や改修が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港施設の適切な管理のため、機能保全に向けた計画の策定や調査、改修工事等を実施します。</li> </ul>



- 
- 地域資源を活かした域内循環の促進などにより、地域経済の持続的発展を支えています。
  - 観光客、地域住民、地域経済、地域環境がより良い形で調和した、持続可能な観光地となっています。